

## 2023年 高知県労福協会長 新年あいさつ

明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から労福協運動に対するご理解・ご協力とあたたかいご支援をいただいていることに心から厚く御礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症から3年の月日が流れようとしていますが、依然として収束は見通せない状況にあります。コロナ禍は、社会システムの矛盾や課題を浮き彫りにするとともに、その影響は社会的弱者ほど大きなものとなっています。

このような時だからこそ、労福協がめざす「貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で安心して暮らせる持続可能な社会」が求められており、引き続き労働団体・福祉事業団体をはじめ会員組織との連携を強化しながら、その実現に向けた取り組みに力を尽くしてまいります。

2023年におきましても、高知県労福協の取り組みへの絶大なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年にあたっての挨拶といたします。



一般社団法人高知県労働者福祉協議会  
会長 池澤 研吉

### 高知県労働者福祉協議会役員



会長  
池澤 研吉  
連合高知



副会長  
井上 浩司  
四国労働金庫



副会長  
石川 俊二  
こくみん共済coop(全労済)高知推進本部



理事  
市川 稔道  
連合高知



理事  
西澤 和修  
(公財)高知勤労者福祉サービスセンター



理事  
國 弘 昭  
高知県退職者連合



理事  
佐々木 徹  
U A ゼンセン高知県支部



理事  
新土居 正志  
NPO法人高知県労働安全衛生センター



理事  
橋川 慶一  
高知県生活協同組合連合会



理事  
松岡 和男  
(一社)高知県労働者福祉協議会理事会



監事  
中野 勇人  
高知県平和運動センター



監事  
山本 弘三  
(一社)年金福祉広域協会高知支部

## 西部労福協第40回研究集会を開催

「平和で安心して働きくらせる持続可能な社会を！」

今こそ西部労福協の力を結集しよう



2022年11月10日(木) 広島県広島市「ワークピア広島」で、中四国9県の地方労福協、事業団体、労働団体42名の参加で第40回研究集会が開催され、高知県労福協より3名が参加しました。

開催にあたって、西部労福協・堅田裕之事務局長より、今回の開催にあたってコロナウイルス感染拡大の影響で開催日程の短縮と参加者の制限を設けて開催に至る事となったとの説明を受け、開催地の広島県労福協・久光博智会長、開催地の及川享広島市副市長の労働者福祉に対する敬意と今後の活動強化への期待を含む挨拶があり、講演に入りました。

### 講演Ⅰ「奨学金制度改善・教育費負担軽減の取り組み」

講師：労働者福祉中央協議会 南部美智代事務局長

公的奨学金制度の始まりから、制度改正など現行奨学金までの制度内容を分かりやすく解説され、大学進学における世帯収入との関係性など、世帯収入が少ないほど大学進学の希望割合が少ないとの傾向が統計により確認できるとし、教育費を家庭負担に頼ってきたことや上昇し続ける大学の授業料、経済停滞により上がらない年収など、奨学金問題の背景がある事の説明がありました。また、子育てや教育にかかる費用が少子化の要因となっており、現在コロナウイルス感染拡大が続く中で、低所得世帯の子供たちが将来低所得者になる可能性が高くなり貧困の連鎖から抜け出せないなど、学歴と収入の結びつきが強いとの関連についても説明を受けました。



中央労福協は、学費の高騰や家計収入の減少等により、学費が賄えず「学びたくても学べない」学生が増えており、卒業後数百万円もの返済に直面する中、コロナ禍で内定取り消しや採用削減などで「返したくても返せない」若者が増えているとし、他方、奨学金の制度や支援が不十分である現状を改善すべく、奨学金制度の拡充のための運動を2021年度から第3期運動として取り組んでいることが紹介されました。第3期運動では、教育費の漸新的無償化に向けた学費の軽減と給付型奨学金の拡充、有利子から無利子へ返済困窮者への救済措置の拡充、無理のない柔軟な返済制度への改善、教育費・奨学金返済負担を軽減するための政策減税を目標に掲げて取り組んでいます。さらに、労福協の未来に向けた指針として、すべ

ての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくるとの理念と貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会をめざすと力強く宣言されました。

### 講演Ⅱ「労働者福祉としての働き方改革」

講師：県立広島大学大学院経営管理研究科 木谷宏教授

木谷教授は、人的資源管理、ワークライフ・バランス、ダイバーシティ・マネジメント、働き方改革、治療と仕事の両立支援を専門とし、広島県働き方改革推進・働く女性応援会議の学識者委員、広島市男女共同参画審議会の会長を務めるなど、働き方改革に造詣が深く、現在の感染症リスク社会における働きがいについて講演していただきました。



はじめに、感染症リスクが経営に何をもたらしたかについて、危機発生に対し、柔軟に調達先を変更したり、特定国への集中の見直しの必要性やテレワークとオフィスワークの混成、デジタル化の加速などが進められた事が挙げられ、新たな自然的な外部環境による組織(企業)への影響が、人的資源管理の戦略・方針・実践に作用を及ぼしたと説明がありました。

次にワークライフバランスの定義は、英国では、「誰もが仕事とそれ以外の責任、欲求とをうまく調和させられるような生活リズムを見つけられるように、就業形態を調整(働き方)すること」としており、日本では、男女共同参画会議専門調査会の定義は、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態と定義するなど、具体的方法を欠いており、うまくいっていないと分析していました。

最後に、広島県における働き方改革の取組を紹介し、広島県の働き方改革は、1つは、時間や場所に捉われず、従業員が個々の状況や価値観に合わせて、自分らしく働くことができる状態など「働きやすさの実現」と1つは従業員が所属する組織で働く価値を感じながら、意欲的かつ自律的に仕事に取り組むことができる状態の「働きがいの実現」により、ひいては人材確保、組織の生産性向上、外部環境変化への対応向上をもたらすと言う成果に繋がる。結果として、全従業員が活躍する組織(能力の最大化)となり、企業価値の向上を図ることで持続可能な企業成長を目指すとのことでした。

参加者は大変勉強になり、今後の活動に活かして、地域での活動の広がりを進めて行くことの決意となったことと思われま

す。

## 知ってお得な労働基準法

### 『労働セミナー』のご案内 ~働くときに知っちょきたいこと!~

働くうえで知っておくべき最低限のルールや労働者として知ってほしい基本ルールを身に付けていただける内容として、「働く人のためのハンドブック」をテキストに『労働セミナー』を開催しております。これから社会人になる高校生や大学生、また企業の新人研修にも役立ちます。セミナーご希望の学校や団体からのお申込みをお待ちしております。(無料)

お気軽にお問い合わせください。(高知県労福協事務局 TEL088-824-3583)



2022年度勤労者の森事業

2022.11.5 (土) 開催

## 『久保谷セラピーウォーキングと 木質ペレット工場見学』

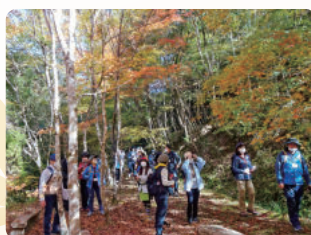


秋晴れの空のもと、2022年度勤労者の森事業のイベントとして、高知の大自然に触れるとともに、中山間地域の暮らしや森林環境について学び、自然の豊かさを体感し、地元の方々と交流することを目的とした「久保谷セラピーウォーキングと木質ペレット工場見学」を開催しました。イベントには、大人24名と小人1名の計25名が参加し、マイクロバス2台に揺られながら雲の上の町、梶原町久保谷セラピーロードに到着。はじめに、勤労者の森実行委員会を代表して、労福協事務局長の井上氏が挨拶を行い、続いて現地スタッフの「松原まろうど会」下元さん他2名のガイドでウォーキングに出発しました。約3kmをゆっくり時間をかけウォーキング。途中ガイドのもと、珍しい山林植物にふれ、参加者は興味深く聞き入っていました。また、水路の回りをふかふかな苔がむし、紅葉も真っ盛りで格別の美しさを満喫することができ、森、水、風の音に包まれながら、美しい水路に癒されるセラピーロードを堪能しました。

昼食休憩の後、午後からは「木質ペレット工場」の見学を行いました。参加者の皆さんは現地スタッフの説明を熱心に聞きながら、間伐時に生じる未利用材や根元材などを原料にし、固形燃料の木質ペレットを製造する行程を見学しました。ペレットは熱量を一定に保つことができる燃料として近年注目されており、薪や炭などと比べて安定した供給が可能なおうえ、運搬性にも優れるというメリットをもっています。生産されたペレットはペレットストーブやペレット炊き冷暖房機の燃料として利用されているとのこと、循環型社会を目指す梶原町の取り組みについて学習することができました。

自由時間には、梶原町内にある、ゆすはら座やまの駅「ゆすはら」、建築家隈研吾さんが建築された雲の上の図書館などを巡り、滞在時間を楽しみながら過ごしました。

今年度も、大自然に親しみ・学び、思い出に残る体験が出来ました。また、「久保谷セラピーロード」梶原町松原地区のスタッフの方々のご協力で無事に終了することができ、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 勤労センタービルで**消防訓練**を実施しました。



11月8日(火) こうち勤労センタービルで消防訓練をしました。

毎年、避難訓練を実施していますが、今年も外階段の開錠に悪戦苦闘!場所の確認はできなくても、いざ開錠する時には、階によっては鍵が固くなっていたり、開け方がよく分からなかったりで、「頭でわかっている、いざという時には、焦ってパニックになり、なかなか難しい」や「やっと開いたと思っても、勢いよく外に出ると、踊り場が狭く、危ない」などの感想が聞かれました。

避難訓練後は、館内消火設備の見学をしました。1階では、どのようにホースがしまわれているか、階段の防火用扉が実際どのように動くのかなどを見学し、前出の外階段の開け方も、あらためて教わりました。説明をいただいた、(有)サンパウ防災の矢野さんは、「初期消火は大切ですが、無理をせず、自分やお客様の安全を優先し、避難してください。」とおっしゃっていました。

館内の消火設備の見学の後は、各団体の代表が集まり、こうち勤労センター消防計画に基づく資料をもとに、団体それぞれの自主消防組織内での役割分担の周知と確認をしました。



# こうち食支援ネット理事長 新年あいさつ

明けましておめでとうございます。

労福協の構成団体の皆様には、「こうち食支援ネット」の諸活動に多大なご協力をいただくとともに、様々な形で組織を支えていただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

「こうち食支援ネット」は、高知県において食支援に取り組んでおられる多くの方々が一層連携を深めることにより、食支援を充実させ、支援の輪を広げていきたいという思いをもって2021年にNPO法人として発足しました。この間、多くの県民、企業・団体の皆様のお力添えをいただきながら、「食料を集める仕組みの強化」や「食料を活用する仕組みの構築」などの取り組みを進めてきたところです。

「食料を集める活動」として、各団体・個人の方々から寄付をいただくとともに、県内でフードドライブを普及させる取り組みに注力してきました。私たちだけの力ではありませんが、多くの企業や自治体でのフードドライブ活動が展開されはじめ、広がりを見せていることは確かであると思っております。また「食料を活用する活動」としては、様々な支援活動の第一線を担当する団体の方々にフードサポートメンバーとして登録いただき、高知市中央卸売市場の関連棟をお借りして一時保管倉庫とし、その場で月1回の食材提供を行っております。現在フードサポートメンバーは、子ども食堂の皆さん、生活困窮者や障がい者、高齢者、引きこもり世帯の支援を行っている皆さん、様々な困難を抱える子どもたちとその家族を支援する皆さんなど43団体にのぼっており、交流や連携も深まってきていると感じています。

多くの県民の皆様のご支援で順調なスタートを切ることができましたが、1年半に及ぶ活動の中で、力不足も感じておりますし、克服すべき課題も明らかになっております。「こうち食支援ネット」は、これまで以上に食支援にかかわる方々のつながりを強めながら、様々な取り組みを進め、地域福祉の確立や地域の活性化に役立っていきたくと願っています。労福協の皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。



こうち食支援ネット  
理事長 折田 晃一

## みんなあつまれ!『2022ボランティアガイダンス』に こうち食支援ネットも出展してきました!

2022.11.13 (日)  
総合あんしんセンター  
3F会議室



高知県ボランティア・NPOセンターと高知市市民活動サポートセンターが主催する、みんなあつまれ!『2022ボランティアガイダンス』が昨年の11月13日に開催され、こうち食支援ネットも出展させていただきました。会場には、出展している11団体のブースが並び、中央には約70名もの参加者で席は埋め尽くされ、高知にもボランティアに興味を持っている人がたくさんいることに驚きを覚えました。はじめに、高知県ボランティア・NPOセンターの主事 森方正博氏より、「ボランティアははじめの一步」と題して、ボランティアとは何だろうか?ボ

ランティア活動するうえでのヒントなど、様々なお話が聞けました。私自身も自分に合ったボランティア活動ってなんだろう?と、ふと振り返る時間になりました。次に、出展団体がそれぞれの活動紹介やこんなボランティア活動をしてほしいなどの説明をし、いよいよ参加者をブースにお出迎えすると、初めての出展でなんと13名の参加者がこうち食支援ネットのブースを訪れてくれました。中には、私たちの活動を事前にチェックし、興味を持たれた方もいて驚きの連続でした。活動内容や取り組みを説明し、勧誘の結果、13名中3名のボランティア登録があり、現在こうち食支援ネットのボランティア数は、17名になりました。「できる時間に」「できる範囲で」「楽しく」をモットーにボランティアさんを増やしていけたらと思います。ご興味のある方は、こうち食支援ネット事務局までご連絡ください。(事務局TEL:088-824-3583)



# フードドライブ実施中!

下記の場所でフードドライブボックスを設置しています。  
ご家庭の余剰品(使いきれそうにないものや、使わないもの)をぜひご支援ください。

※未開封のもので、賞味期限が1ヵ月以上あるもの  
生鮮食品や酒類は×(料理酒は○)  
生活用品も可(マスクや生理用品など)



## 現在、高知県下で設置しているところ (2023年1月現在)

◎NPO法人こうち食支援ネット TEL:088-824-3583  
設置場所:こうち勤労センター1階(常設)  
住所:高知県高知市本町4丁目1-32

◎香美市役所 TEL:0887-53-3111  
設置場所:香美市役所1階(期間内常設)  
住所:高知県香美市土佐山田町宝町1丁目2-1  
(1/4(水)~1/31(火)まで)

◎嶺北観光自動車 TEL:0887-82-0199  
設置場所:田井待合所(常設)  
住所:高知県土佐郡土佐町田井1491-1

◎高知県内のファミリーマート店舗(常設)

- 高知市役所店
- 高知北竹島店
- 高知瀬戸店
- 土佐山田談議所店
- 中村具同店
- 宿毛駅前店
- 宿毛小深浦店

◎宿毛市役所 TEL:0880-62-1111  
設置場所:宿毛市役所1階(常設)  
住所:高知県宿毛市希望ヶ丘1番地

つくろう! はいろう!

# 労働組合!



連合が組合  
づくりを  
お手伝いします!

安心して働くために...みんなで力を合わせて職場を改善!

賃金が低い・  
休みもない

職場でパワハラや  
セクハラがある...

こんなとき、労働組合があれば...

組合のつくり方は  
こちらも参考に



## 労働条件が向上!

賃金、労働時間・休日、残業時間などについて、労働組合が職場の声を反映した要求を出し、会社と対等に話し合って決定します。



## 職場の環境が改善!

職場の意見や課題を会社に伝え、職場全体の問題として会社と話し合うので、性別・雇用形態・国籍に関わらず職場の風通しが良くなり、みんなが働きがいをもって働けるようになります。



## 雇用が安定!

労働組合の最も重要な役割は“雇用を守ること”。不当な解雇に泣き寝入りすることはありません。いざというときには労働組合が会社と交渉し、雇用と生活を守ります。



## まずは連合にご相談を!

フリーダイヤル いこうよ れんどうに  
0120-154-052

相談  
無料

秘密  
厳守

携帯・スマホ  
OK

日本労働組合総連合会(連合)

ろうきんは組合員のみなさまのニーズに応えるために  
生活や家計をサポートする生活応援運動を展開し  
労働組合の自主福祉活動をバックアップいたします

## 労働組合

組合員の社会的・  
経済的地位の向上

- 組合員の生活・労働条件の向上と雇用の安定
- 組合員とのコミュニケーション強化

ワークライフバランスの実現

セーフティネットの構築

組織の強化と拡大

## ろうきん

生活応援運動

- はたらく人の生涯にわたるライフイベントのサポート
- 金融商品・サービスに関する消費者教育
- 計画的な貯蓄・運用による資産形成の提案

生活設計

生活防衛

生活改善



「もしも」に備え  
「もしも」を防ぎ  
「もしも」に向き合う。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、  
皆さまとともに取り組んでいきます。

こくみん共済 NEWS



公式キャラクター  
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 <全労済>

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。